

インストール

インストール方法については、利用ガイドの『2-3 インストール』をご参照ください。

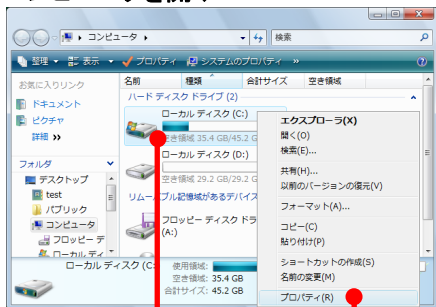
作業前の確認事項

■ハードディスクのエラーチェック

ハードディスクに不良セクタなどの問題が存在すると、正常にバックアップ/コピーできません。**必ずドライブのエラーチェックを実行してください。**

※ XP での実行方法は利用ガイドの『2-2 ディスクのエラーチェック』をご参照ください。

コンピュータを開く

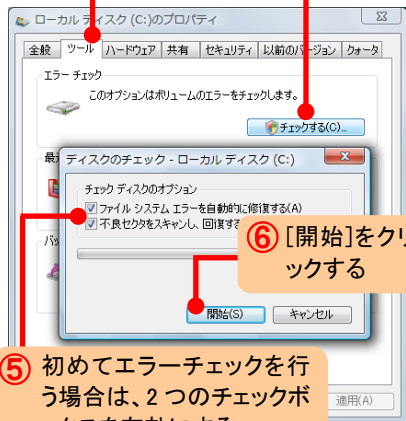


① 対象となるドライブを右クリックする

② メニューから [プロパティ] を選択する

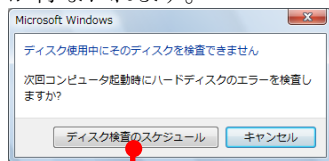
③ [ツール] タブを選択する

④ [チェックする] ボタンをクリックする



⑤ 初めてエラーチェックを行う場合は、2つのチェックボックスを有効にする

対象ドライブが使用中の場合には、Windowsの再起動後にエラーチェックが行なわれます。



⑦ [ディスク検査のスケジュール] をクリックして PC を再起動する

再起動後にエラーチェックが実行されます。利用ガイドの『2-2 ディスクのエラーチェック』をご参考に結果を必ず確認してください。

■製品 CD からの起動確認

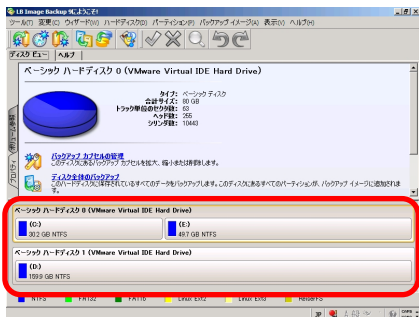
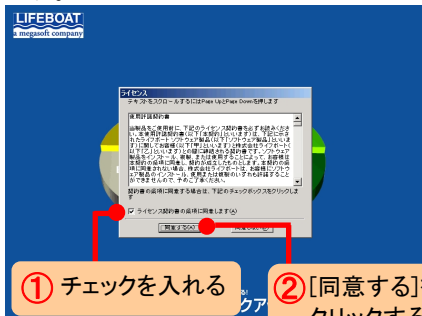
復元処理は主に製品 CD から起動して実行します。LB イメージ バックアップ 9 の製品 CD からの起動と、予定しているバックアップ先が参照できるのか、事前に確認してください。手順は利用ガイドの『2-1 製品 CD の起動確認』をご参照ください。

製品 CD をドライブに挿入して、PC を再起動します。以下の画面が表示されるので、すぐに何かキー(例えば <Enter>キー)を押してください。



※このメッセージは数秒間しか表示されません。CD 起動の詳細な方法については、『2-1 製品 CD の起動確認』をご参照ください。

しばらく待つと以下の画面が表示されます。

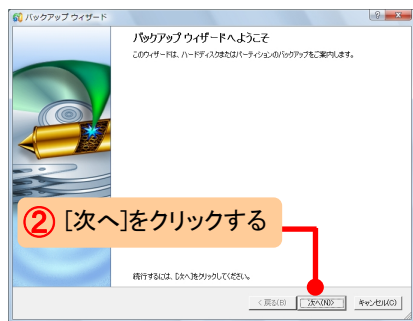
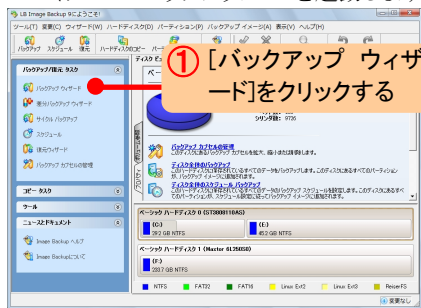


バックアップ先にネットワークドライブや、CD/DVD を使用する場合には、利用ガイド『2-1 製品 CD の起動確認』を参考に確認を行ってください。

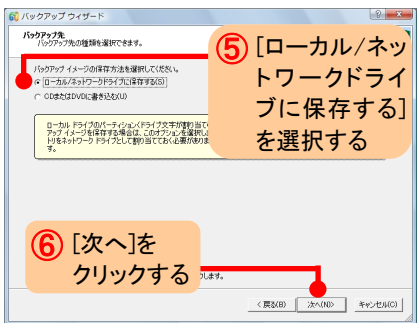
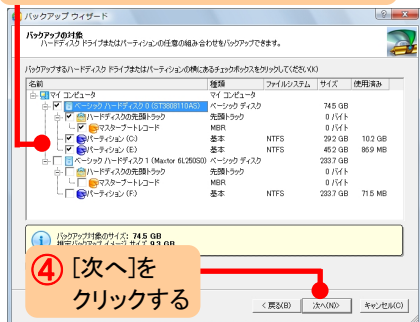
バックアップの手順

ここでは、ハードディスク全体を別のハードディスクにバックアップする手順を例にご紹介します。DVD やネットワークドライブなどをバックアップ先として使用する場合には、利用ガイドの『第4章 バックアップを実行する』をご参照ください。

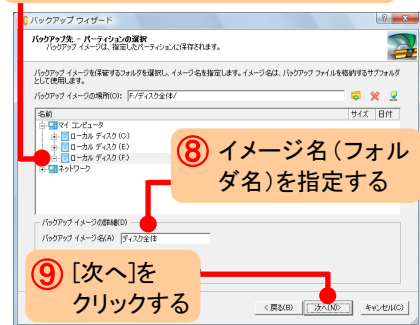
LB イメージ バックアップ 9 を起動します。



③ バックアップしたいパーティション かディスク全体を選択する



⑦ バックアップ先のドライブ/フォルダを指定する

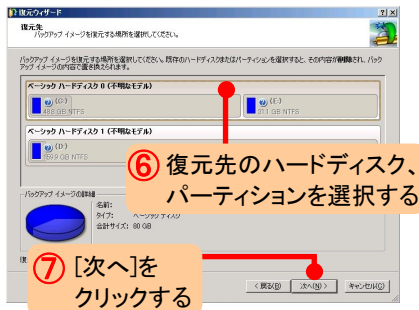
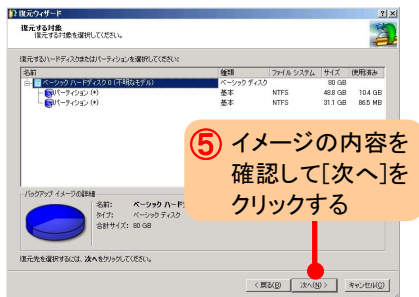
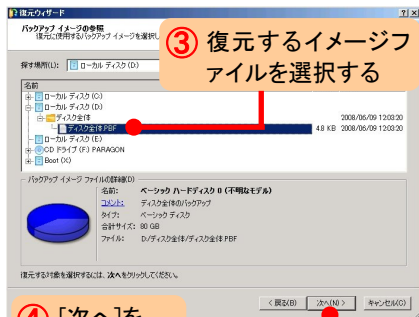
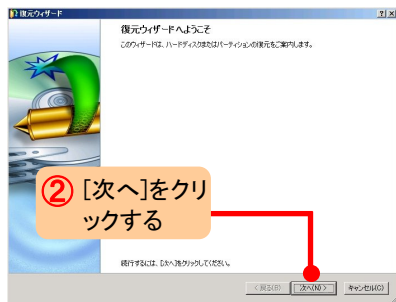


復元の手順

ここでは、製品 CD から起動してバックアップを復元する手順をご紹介します。システムパーティション以外(OS がインストールされていない)を復元する場合やイメージから特定のファイルやフォルダを復元する場合には、Windows 上で復元することができます。詳細は利用ガイドの『第5章 バックアップを復元する』をご参照ください。

製品 CD から起動します。

※ 起動方法は、2 ページの『製品 CD からの起動確認』の箇所をご確認ください。



※ 復元を実行するとバックアップ時の内容に戻ります。選択したイメージファイル、復元先が正しいか、十分に確認してください。

【新しいディスクを外付けする場合】

ハードディスク ケースを利用してドライブを接続する場合には、まずコピー先のハードディスクをケースに入れます。



ケースに入れたハードディスクを USB ケーブルまたは IEEE1394 ケーブルでシステムと接続します。

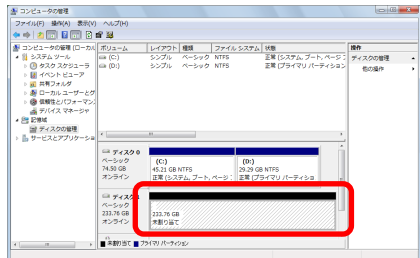


■接続後のハードディスクの確認

ハードディスクの接続が完了したら、Windows を起動して接続したハードディスクが正しく認識されているか確認します。手順は以下の通りです。

[スタート]メニューから[コンピュータ]を右クリックし、表示されたメニューから[管理]を選択します。

[ディスクの管理]を選択し、コピー先のハードディスクが正常に認識されているか確認します。表示されない場合には、増設したハードディスクのマニュアルなどを確認してください。

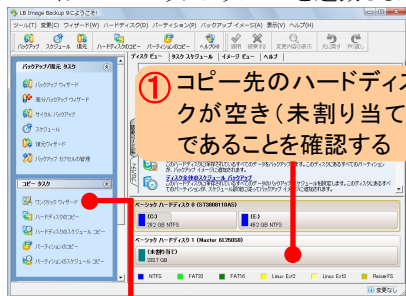


接続されたハードディスクが「未割り当て」と表示されていない場合には、コピー先ディスク内のパーティションを右クリックして[ボリュームの削除]を選択してパーティションを削除してください。

※パーティション内のデータもすべて削除されますので、操作には十分にご注意ください。

ハードディスクのコピー (2)コピーの実行

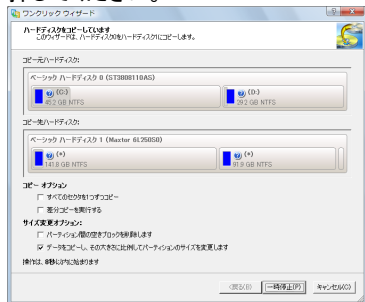
LB イメージ バックアップ 9 を起動します。



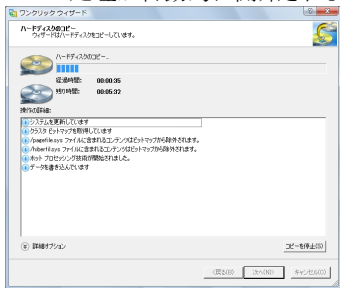
① コピー先のハードディスクが空き(未割り当て)であることを確認する

② [ワンクリック ウィザード]をクリックする

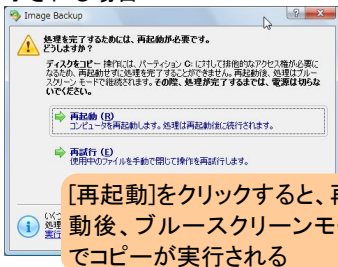
※[ワンクリック ウィザード]をクリックすると、以下のダイアログが 10 秒間表示された後、自動的にコピーが開始されます。ダイアログの内容をよく確認したい場合には、すぐに[一時停止]ボタンを押してください。



コピー処理が自動的に開始されます。

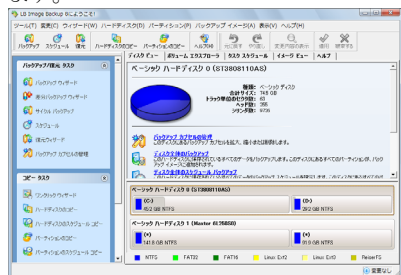


※処理が開始されずに、以下の画面が表示される場合



[再起動]をクリックすると、再起動後、ブルースクリーンモードでコピーが実行される

完了したら、コピーが正しく行われているのか、コピー先のハードディスクを確認します。



ハードディスクを交換するために、Windows をシャットダウンします。

※Windows 2000/XP/Vista を使用している場合、そのままの状態では再起動してしまうと、コピー元ハードディスクの構成情報が更新されるため、新しいハードディスクを外した状態(コピー元ハードディスクのみ接続された状態)では起動できなくなる場合があります。

ハードディスクのコピー (3)ディスク構成の変更

■ハードディスク構成の変更

新しいハードディスクを起動ドライブとして使用する場合にはハードディスク構成を変更する必要があります。コピー元ドライブを取り外し、コピー先ドライブを 1 台目のシリアル ATA コネクタに接続します。

■ハードディスクの起動確認

ハードディスクの交換が完了したら、システムに電源を入れて、Windows が正しく起動できることを確認します。